

経済学演習Ⅱ

必修 2単位

杉浦 史和

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、現代の経済システムに関する幅広い検討を行う。取りあげるテーマは、社会主義経済体制と資本主義経済体制との比較、社会主義から資本主義への移行、資本主義の多様性、旧ソ連・東欧・中国などにおける移行経済プロセスの比較検討などである。より良い経済体制とは何かをともに模索していきたい。

2. 授業の到達目標

主演習の学生は、各自で定めた研究テーマに相応して先行研究をサーベイし、さらに論点を絞って、修士論文や特定課題研究として研究成果をまとめる事が目標になる。副演習の学生の場合、上記分野についての幅広い知識を習得し、経済学的な思考を訓練することが目標となる。

3. 成績評価の方法および基準

演習への出席、そこでの議論への参加と報告、および研究の進捗状況などを総合的に判断して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストや参考文献は、受講者の関心テーマに即してその都度、指示する。

5. 準備学修の内容

インターネットでの検索のみに頼った手軽な方法ではなく、各地の他大学図書館を訪ねるなど関係分野の文献渉猟を徹底して行い、過去の研究成果を可能な限り学習しようとする姿勢が必要である。

6. その他履修上の注意事項

日本語文献以外に少なくとも英語文献を読めることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、ならびに受講者の分担決定。
- 【第2回】 (オンライン講義)論文の書き方に関して知っておきたいこと
- 【第3回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第4回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第5回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第6回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第7回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第8回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第9回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第10回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第11回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第12回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第13回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第14回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告
- 【第15回】 文献の輪読、ないし各自研究の報告